

## ◆R06 子ども読書アンケート分析 【児童生徒編】◆

### ○問1 本を読むことが好きですか？

全体的に見ても「好き」または「どちらかといえば好き」と回答した割合は高かった。

小学生低学年 94.1%、中学年 87.9%、高学年 84.6%、中学生でも 75.2%と、多くの児童・生徒が読書を好んでいるが、学年が上がるにつれてその割合が下がる傾向が見られる。

#### ■R6年度 [R5年度]回答 (%)

	「好き」「どちらかといえば好き」	「嫌い」「どちらかといえば嫌い」
低学年	94.1 [94.8]	5.9 [5.2]
中学年	87.9 [90.5]	12.1 [9.5]
高学年	84.6 [83.6]	15.4 [16.4]
中学生	75.2 [77.3]	24.8 [22.8]

### ○問2 読書を好きになったきっかけは？（※問1で①または②を選んだ人）

すべての学年において「家に本があった」と答えた割合が高かった。小学生低学年や中学年では、「小さいころ読んでもらった」と答えた割合も高く、家庭に本があることや、自然と本に触れる環境が整っていることが影響している可能性が高い。

#### ■R6年度 [R5年度]回答 (%)

	小さいころ読んでもらった	小さいころ、本屋や図書館につれて行ってもらった	家に本があった	家族や先生、友達が読んでいたから	なんとなく	その他
低学年	36.7 [31.8]	17.9 [18.2]	25.8 [28.2]	4.2 [7.2]	11.3 [10.6]	4.1 [4.1]
中学年	25.4 [25.8]	12.5 [14.8]	28.0 [30.0]	6.3 [4.5]	19.2 [18.3]	8.6 [6.7]
高学年	22.0 [22.3]	9.0 [8.9]	26.7 [32.0]	5.9 [6.2]	27.6 [23.2]	8.8 [7.4]
中学生	18.4 [19.3]	11.3 [14.4]	26.5 [38.1]	5.1 [16.6]	34.2 [33.1]	4.5 [5.3]

### ○問3 本を読むことが嫌いな理由（※問1で③または④）

小学生低学年においては、「おもしろくない」「文字を読むのが嫌い」と回答した割合が高く、小学生高学年、中学生においては、「他の事がしたい」との回答の割合が高かった。

#### ■R6年度 [R5年度]回答 (%)

	おもしろくない	時間がない	文字を読むのがきらい	苦手・難しい	読書より他の事がしたい	マンガ・雑誌は読む	その他
低学年	29.8 [39.6]	14.0 [5.2]	21.1 [25.9]	15.8 [15.5]	3.5 [6.9]	7.0 [1.7]	8.8 [5.2]
中学年	14.2 [13.4]	5.6 [7.7]	24.7 [28.2]	24.1 [19.7]	19.7 [19.0]	6.8 [9.2]	4.9 [2.8]
高学年	12.9 [11.8]	10.3 [11.0]	20.8 [20.6]	13.5 [11.4]	26.1 [25.7]	14.9 [17.6]	1.5 [1.8]
中学生	20.0 [12.5]	15.1 [12.9]	3.6 [20.3]	14.0 [12.3]	29.1 [23.9]	17.7 [16.7]	0.5 [1.4]

### ○問4 この1カ月で何冊本をよみ終えることができましたか？

「10冊以上」の回答が小学生低学年では 50.6%、中学年では 38.7%と高かった。多くの本を読んでいる一方で、小学生高学年や中学生では「1冊～3冊」との回答が、小学生高学年 40.8%、中学生 56.4%と高く学年が上がるにつれて、本を読む冊数が減少傾向にあることが分かる。

#### ■R6年度 [R5年度]回答 (%)

	0冊	1～3冊	4～6冊	7～9冊	10冊以上
低学年	1.7 [1.6]	18.5 [12.8]	15.3 [14.0]	13.9 [15.5]	50.6 [56.1]
中学年	3.3 [3.3]	22.1 [20.1]	21.3 [19.8]	14.6 [15.2]	38.7 [41.6]
高学年	8.0 [6.7]	40.8 [33.8]	27.0 [27.7]	9.3 [10.3]	14.9 [21.5]
中学生	26.1 [22.6]	56.4 [53.5]	10.7 [14.0]	2.0 [3.6]	4.8 [6.3]

○問5 「0冊」だった理由を教えてください。(※問4で「0冊」を選んだ人)

小学生高学年から中学生にかけて「読書よりやりたいことがあった」との回答の割合が高くなっている。中学生においては、35.1%と他の回答より10ポイント以上高い結果となった。

■R6年度 [R5年度]回答 (%)

	読みたいけど時間がない	何を読んだらいいかわからない	読書よりやりたいことがあった	読みたいと思わない	読むのがきらい	その他
低学年	33.4 [21.4]	20.0 [7.1]	20.0 [21.4]	0.0 [0.0]	13.3 [28.6]	13.3 [21.4]
中学年	33.3 [19.4]	10.0 [9.7]	6.7 [22.6]	26.6 [16.1]	6.7 [25.8]	16.7 [6.5]
高学年	20.2 [18.9]	3.6 [3.8]	29.8 [30.2]	26.2 [17.0]	11.9 [18.9]	8.3 [11.3]
中学生	16.0 [19.7]	2.5 [1.4]	35.1 [35.8]	23.5 [24.0]	15.7 [11.8]	7.2 [7.2]

○問6 学校の図書館へはどのくらい行きますか？(授業以外で)

学年が上がるにつれて、学校の図書館へ行く回数が減少傾向にあり、「行かない」と回答した割合も昨年度に比べると、どの学年も増加しており学校の図書館へ行く割合が減少している状況がうかがえる。

■R6年度 [R5年度]回答 (%)

	毎日	週2.3回以上	週1回	月1.2回	行かない
低学年	14.0 [13.3]	24.8 [26.5]	24.4 [28.4]	20.5 [18.4]	16.3 [13.3]
中学年	4.1 [3.8]	20.0 [18.4]	38.7 [41.0]	24.5 [24.9]	12.7 [11.9]
高学年	2.2 [3.7]	9.9 [13.8]	31.6 [30.8]	35.5 [33.9]	20.8 [17.8]
中学生	2.0 [2.5]	5.6 [5.9]	10.5 [13.3]	34.4 [38.5]	47.5 [39.7]

○問7 地域の図書館(那珂川市図書館・市立公民館図書室(図書コーナー))へは行きますか？(授業以外で)

全体的に、「行かない」との回答の割合が高く、学年が上がるにつれて地域の図書館へ行かない割合も増加しており、中学生に関しては54.4%と高くなっているが、昨年度に比べると「行かない」と回答した割合はどの学年も減少している。中学生においては14.9ポイントも減少していた。リニューアル工事終了に伴う那珂川市図書館の開館が影響していると思われる。

■R6年度 [R5年度]回答 (%)

	月に2.3回以上	2.3か月に1回	半年から1年に1回	行かない
低学年	27.2 [21.5]	25.6 [24.4]	14.7 [18.6]	32.5 [35.5]
中学年	20.4 [13.9]	22.1 [21.1]	19.3 [21.4]	38.2 [43.6]
高学年	12.1 [7.5]	20.9 [15.6]	24.9 [24.9]	42.1 [52.0]
中学生	6.4 [2.8]	14.4 [7.4]	24.8 [20.5]	54.4 [69.3]

○問8 本を借りるとしたらどこで借りることが多いですか？

全体的に、「学校で借りる」の回答の割合が、小学生低学年64.7%、中学年66.2%、高学年61.9%、と高かった。中学生に関しては、「学校で借りる」との回答に近い割合で「買うことが多い」との回答があった。また、「市図書館」との回答の割合はどの学年も増加しており、リニューアル工事終了に伴う那珂川市図書館の開館が影響していると思われる。

■R6年度 [R5年度]回答 (%)

	学校図書館	市図書館	市立公民館	恵子児童館	買うことが多い	その他
低学年	64.7 [73.7]	15.4 [7.8]	3.5 [1.9]	5.0 [3.3]	9.8 [11.2]	1.6 [2.0]
中学年	66.2 [65.4]	11.0 [6.8]	0.9 [1.1]	2.4 [1.7]	17.4 [21.1]	2.1 [3.9]
高学年	61.9 [65.7]	11.0 [7.1]	1.0 [0.5]	0.5 [0.1]	23.7 [22.9]	1.9 [3.7]
中学生	43.5 [46.0]	9.2 [5.1]	0.7 [0.5]	0.3 [0.1]	44.0 [45.9]	2.3 [2.4]

○問9 スマートフォンなどを含むタブレット端末を使って本やマンガ・雑誌を読むことはありますか？

全体的に「読まない」との回答率が高く、小学生では全学年50%以上と高い。

また「本を読む」との回答率が高い小学生低学年・中学年に比べると、高学年、中学生では割合が低い一方で、「マンガ・雑誌を読む」との回答では、中学生39.9%だった。

■R6年度 [R5年度]回答 (%)

	本を読む	マンガ・雑誌を読む	どちらも読む	タブレットでは読まない
低学年	27.9 [20.2]	10.5 [10.2]	8.4 [11.1]	53.2 [58.5]
中学年	21.1 [24.9]	13.6 [15.0]	10.6 [10.0]	54.7 [50.0]
高学年	17.9 [15.7]	19.6 [21.8]	10.9 [10.4]	51.6 [52.2]
中学生	6.8 [6.6]	39.9 [40.1]	12.1 [15.0]	41.2 [38.3]

○問10 電子書籍で利用するジャンルを教えてください。

※その他の回答には、「利用しない」の回答が含まれている。

小学生全体で「利用しない」との回答の割合が高かったが、ジャンルの中ではどの学年でも「マンガ」と回答した割合が高く、中学生に関しては56.8%の生徒が電子書籍で「マンガ」を読んでいる。

	小説・ものがたり	マンガ	図鑑	学習教材	その他
低学年	17.9 [16.6]	20.8 [19.1]	18.2 [11.9]	16.8 [10.7]	26.3 [41.6]
中学年	22.3 [23.2]	24.9 [27.9]	10.1 [13.3]	4.4 [2.5]	38.3 [33.2]
高学年	22.8 [21.6]	33.1 [34.3]	4.0 [2.9]	6.3 [6.5]	33.8 [34.7]
中学生	22.2 [21.9]	56.8 [58.9]	1.1 [1.5]	6.7 [4.3]	13.2 [13.4]

○問11 電子書籍をどのように利用しますか？

※その他の回答には、「利用しない」との回答が含まれている。

小学校全体で電子書籍を利用していないと回答する割合が高い。一方で、中学生に関しては47.2%と高い割合で「購入」して電子書籍を利用している。

なお、昨年度に比べると、市図書館の電子書籍の利用は全体的に増加傾向にある。

	市図書館の電子書籍	買う	その他
低学年	28.1 [20.0]	25.8 [28.3]	46.1 [51.8]
中学年	29.6 [24.1]	23.6 [34.3]	46.8 [41.6]
高学年	26.7 [22.7]	26.5 [28.1]	46.8 [49.2]
中学生	26.2 [21.1]	47.2 [52.3]	26.6 [26.6]

(総括)

○どの学年も約70%以上の子どもが読書を好ましく思っている。子ども達の生活の中に本を身近に感じられる環境をつくることによって、読書に興味を持ち始めるきっかけになると考えられる。

○その一方、全体的に「文字を読むのが嫌い」「おもしろくない」「苦手・難しい」との回答の割合が高く、読書に対する抵抗感や本(絵本)の楽しさをどう知ってもらうかが課題である。

○学年が上がるにつれて、部活動や塾などが多くなり、生活環境が変わるため、本を読む時間の違いが影響していると考えられる。

○学校図書館や市図書館の利用は、全体的に学年が上がるにつれて減少傾向にあるが、本を借りる場所としては、学校図書館の取組の影響もありどの学年も割合が高かった。

○小学生低学年では、昨年度に比べるとタブレットで本やマンガ・雑誌を読まない生徒は5.3ポイント減少している。また、電子書籍で利用するジャンルではすべての項目において増加しており、図鑑では6.1ポイント、学習教材では6.3ポイント増加していた。

○市図書館の電子書籍の利用の増加も含め、未就学児に比べると、電子書籍を利用する割合が高くなることから、紙媒体と電子書籍の双方の啓発や読書活動推進の可能性を検討していく必要がある。